奈良県債 IR資料

Nara Prefecture 2017 Investor Relations





第32回 国 民 文 化 祭・なら2017 第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会 2017.9.1~11.30開催

目次

本白胆の性徴

①奈良県の概要	3-4
②近接する巨大市場	5
③広がる交通ネットワーク	6
④経済が県内で好循環する社会の構築	7-9
⑤文化資源を活用した観光振興	10-13
⑥奈良県における地方創生の取組	14
⑦奈良モデルの取組	15

Ⅲ 奈良県の財政状況

①決質額の概況

· ハマチロス マン 1% カレ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
②県税の推移	18
③義務的経費の推移	19
④県債残高の推移	20-21
⑤基金残高の推移	22
⑥財政健全化判断指標の状況	23
⑦財政健全化判断指標の全国的なポジション	24
⑧公営企業の決算状況	25
⑨公社・独立行政法人の決算状況	26

Ⅲ 奈良県の起債運営

①格付けの取得	28
②市場公募債の発行概要	29

(参考) 色んな指標から見た奈良の「トップ3」.... 31-32

17

I 奈良県の特徴

Ⅱ 奈良県の財政状況

Ⅲ 奈良県の起債運営

Ⅰ 奈良県の特徴

①奈良県の概要

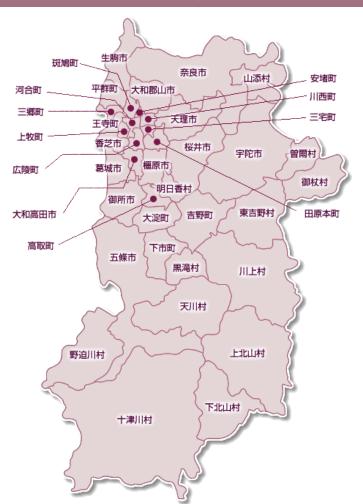
位置	本州のほぼ中央、紀伊半島の真ん中に 位置し、周辺を山岳に囲まれた内陸県		
地形	吉野川に沿って東西に走る中央構造線 により、北部低地と南部山地に分かれる		
気象	北部(盆地)は内陸性気候 夏は蒸し暑く、冬は寒い 南部(山地)は山岳性気候 夏は雨が多く、冬は積雪が深い		
面積	3,691km²	全国第40位	
人口	136万人	全国第30位	
1人あたり 県民所得	253.4万円	全国第35位	
県内総生産 (名目)	3兆5,410億円	全国第39位	
従業者1人 当たり製造品 出荷額等	3,082万円	全国第27位	
世界遺産	3か所	全国第1位	

奈良県の位置



1奈良県の概要

行政区画図(12市15町12村)



3つの世界遺産



法隆寺地域の仏教建造物 (1993年12月登録)



古都奈良の文化財 (1998年12月登録)

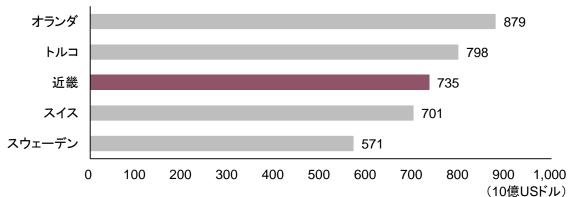


紀伊山地の霊場と参詣道 (2004年7月登録)

②近接する巨大市場

スイス(世界19位)を上回る近畿の巨大な経済規模

■ 主要国の名目GDPとの比較(2014)



項目		近畿2府4県		奈且	良県
人口(H	127)	2,073万人	16.3%	137万人	1.1%
面積(H	127)	27,351km [*]	7.2%	3,691km²	1.0%
県内総	生産(H26)	80.7兆円	15.7%	3.5兆円	0.7%



※ 左表の割合は、全国に占める率を示す

■指標でみる県内の経済・消費活動

1世帯あたり1か月消費支出額	33万5千円(H27)	全国第1位
貯蓄現在高(総世帯1世帯当たり)	1,781万6千円(H26)	全国第1位
太陽電池モジュール出荷額	1,969億円(H26)	全国第1位
集成材出荷額	194億円(H26)	全国第2位
空気清浄機所有数量 [2人以上の世帯1,000世帯あたり]	639台(H26)	全国第2位
スマートフォン所有数量 [2人以上の世帯1,000世帯あたり]	1,230台(H26)	全国第3位

I 奈良県の特徴

③広がる交通ネットワーク

広がる高速道路ネットワーク

- ■一般国道24号京奈和自動車道 大和御所道路において、平成 29年8月に**御所南IC~五條北IC間**が開通
- ■これにより、西名阪自動車道郡山下ッ道JCTから和歌山JCTまでの高速道路ネットワークが強化
 - (仮称)奈良ICに近接したJR関西本線に新駅を設置し、交通 結節機能のポテンシャルを生かした新たな拠点を形成



出典: 平成29年6月30日付 近畿地方整備局報道資料の一部を加工して作成

充実する鉄道ネットワーク

■ 奈良から各地への所要時間は …

京都まで 約35分大阪中心部まで 約45分

・神戸三宮まで 約1時間20分
・名古屋まで 約1時間10分
・東京まで 約2時間50分
・博多まで 約3時間15分
・伊丹空港まで 約1時間5分
・関西国際空港まで 約1時間20分

■リニア中央新幹線

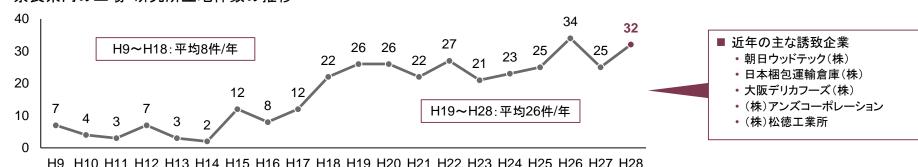
・平成23年5月に国の整備計画において、主要な経過地として 「奈良市附近」と決定



4経済が県内で好循環する社会の構築

企業(工場・研究所)の立地推進による産業振興

- 県による積極的な誘致活動や支援制度の充実により、平成18年度以降、工場・研究所の立地件数が飛躍的に増加(過去10年平均比3倍超増) これにより、地域経済を活性化し、雇用の創出へ。
- 奈良県内の工場・研究所立地件数の推移



■さらに、奈良県への本社移転については、過去15年間で大幅な転入超過

➡ 全国6位(15年間の計:158社転入超過)

■ 近年の本社機能転入事例

- 上六印刷(株)
- 積水ホームテクノ(株)

奈良県の魅力的な立地環境

- 災害が少ない安全・安心な環境
 - ・自然災害による死者ゼロの年の回数 全国2位(36回)(1)
- ■研究開発や高度なものづくりに応える優秀な人材が豊富
 - 文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に取組が採択された奈良女子大学、奈良県立大学、奈良工業高等専門学校 との連携による県内での雇用促進・人材育成

(注1)出典:消防白書より昭和45年~平成27年までの全46回

奈良県 Nara Prefecture

4経済が県内で好循環する社会の構築

産業用地の確保

工業ゾーン創出プロジェクト

■ 京奈和自動車道及び西名阪自動車道の周辺において、県と周辺 5市町(大和郡山市、天理市、川西町、三宅町、田原本町)が連携し、 工業ゾーン創出の取組をすすめている。



H27年3月に供用開始した郡山下ッ道JCT



京奈和自動車道(田原本町附近)

御所IC周辺で新たな産業集積地を造成

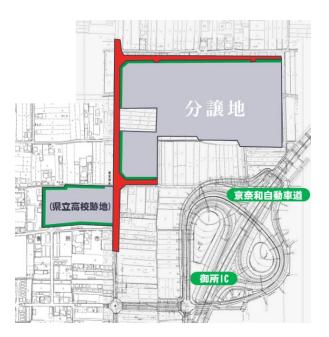
所在地: 奈良県御所市

アクセス: 京奈和自動車道 御所ICから約100m

近鉄御所駅、JR御所駅から約2km

面積: 予定開発面積約12ha

(分譲面積約8ha)



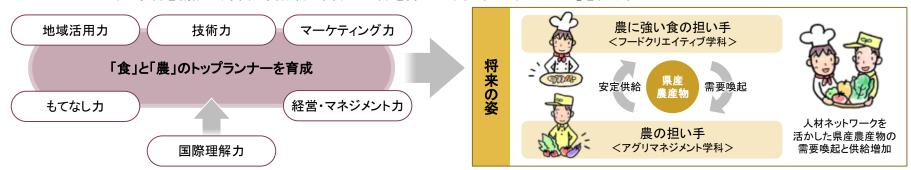
I 奈良県の特徴

4経済が県内で好循環する社会の構築

農・畜産・水産業の振興

なら食と農の魅力創造国際大学校(NAFIC)を整備

■ フードクリエイティブ学科を創設し、農業・農作物に関する知識を持った「食の担い手(シェフ)」を育成。



農産物の販路開拓

- 首都圏への販路開拓
 - 首都圏への県産農産物配送、県産食材レストラン「ときのもり」の開設
 - 新宿高島屋での販売プロモーション、知事トップセールスの実施
- 海外への販路開拓
 - 香港FoodExpoに初出展。県産農産物・加工品のPR及びバイヤーと商談



香港FoodExpo奈良県ブース

ジビエ普及の取組

- ■「ならジビエ」普及の取組
 - ・奈良県でのジビエ利用の実態調査、「ならジビエ」登録制度の創設、取扱飲食店の登録とPR